

■ グループ紹介

山武ハネウエル株式会社

1. 沿革

当社は、1906年、山口武彦が東京市京橋区に山武商会を設立するのに始まり、以来、米国ブラウン社と販売代理店契約を締結、(1934年ハネウエル社と合併)、「人間苦役からの解放」を旗印に業容の拡大・充実を図ってまいりました。

1952年、ハネウエル社と技術(翌年資本)提携を行い、ハネウエル社との連携のもと当社は、常に時代の要求するオートメーションの課題に取り組み、お客様のご信頼にお応えするオートメーション機器・システムの開発に総力を結集してまいりました。

現在では、Savemation(セーブメーション: SaveとAutomationの造語)を企業理念にグループ5社とともに自動化と制御の専門集団として、また、研究開発・生産からメンテナンスまで全ての体制を整備した総合オートメーション事業を推進し、豊かな社会の実現に貢献しております。

2. 会社概況

1. 資本金 42億円
2. 従業員数 4,444名(平成5年2月現在)
3. 売上高 1,260億円(平成4年9月決算期)
4. 山武グループ各社

山武計装(株) (株)山武商会
山武エンジニアリング(株)
山武コントロールプロダクト(株)
山武テクノシステム(株)

3. 事業内容

産業から暮らしの中まで生きる計測と制御の技術。大規模な生産プロセスの制御と管理を担当するPA(プロセス・オートメーション)、生産の自動化と制御を推進するFA(ファクトリー・オートメーション)、居住環境の快適化と情報化を進めるBA(統合化ビルディング・オートメーション)を中心に豊かで快適な社会の実現を目指して幅広く事業を展開しております。

4. 研究開発

- ・アドバンス・テクノロジー・センター: 人工知能の研究、コンピュータ支援システムなどの開発を行っています。
- ・技術研究センター: 半導体技術を応用した、センサーを含む各種デバイス、システムの研究開発を行っています。
- ・生産技術開発部: 山武ハネウエルの製造部門を統括する生産本部に所属し、全社生産設備の自動化技術を研究開発しています。

その他、事業分野の課題を解決する新製品開発、システムセンターにおけるアプリケーション・ソフトウェアの開発、また、経営戦略上の最重要課題である先端技術の開発は、ハネウエル社との緊密な協力のもとに、迅速かつ着実に進めています。

5. 生産体制

山武グループと工場の総合力をもってお客様のご要望の実現に取り組んでいます。

とくに、お客様にご満足をお届けするための品質への取り組み成果として、国内制御機器業界でははじめて国際品質保証規格「ISO9001」を取得を実現しています。

6. 企業理念

制御を通じて、省資源・省エネルギー・省力・安全・快適さを追求して85年以上にわたり社会に貢献してまいりました。いま、21世紀に向かい私達は、よりグローバルな立場で、かけがえのない地球環境を守り、大切な資源を有効に活用しつつ、自然と科学が調和した豊かな社会の実現にさらに貢献したいと願っています。私達はこれを「セーブメーション」=Savemationとよび、山武グループの統一理念として事業展開を進めております。

所在地: 〒150 東京都渋谷区渋谷2-12-19
(文責: 広報室長 小川 正雄)